

たなばたの会（小児科病棟行事）

小児病棟掲示板に大きな笹が設置されると、「早くお家に帰れますように。」「好きなものを食べられますように。」などと、2枚も、3枚も、短冊に願いを書いていました。

ベッドサイドからも参加できるように、病室で「たなばたの会」をしました。保育士さんがパネルシアターで七夕の由来についてのお話をしてくださった後、院内学級教員がリードして、「たなばた」のハンドベル演奏をしました。

きっとお星さまに届いたことでしょう。



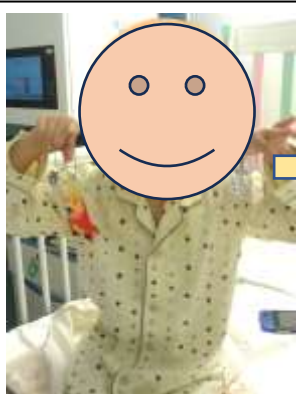
図画工作

「え～！もう終わり！？」図工では、毎回授業が終わる頃にはそんな声が聞こえてきます。楽しみながら没頭することのできる時間を過ごす様子が見られます。一人一人の豊かな発想を大切にしながら学習を進めています。

4月からの生活を振り返って思い出に残っている出来事について絵を描きました。その時の気持ちや様子が伝わるように人の動き、表情や見た物をよく思い出して表現しました。
楽しい様子が伝わってきます。



紙袋や紙コップを生き物の顔に見立てて遊べる作品を作りました。できた作品に手を入れてバクバクさせると、本当に生きているように見えました。教員や看護師さんの手を挟んで、遊んで楽しんでいました。



マリタイム（自立活動）

教室登校の許可が下りない日は、しょんぼりしている子どもたち。そんなときは自立活動をすると、にこにこ笑顔が戻ってきて「また教室に行けるように、治療を頑張る。」と話しています。



待ちに待った
退院の時が
きました。
「いえーい」
ポーズもきま
っています。